

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
7月31日	県立近代美術館 文化の森企画広報室	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	学芸調査課 吉川 企画交流室 森

きんびセミナー「戦後ニッポンのアート」の開催について

1. 趣旨

このセミナーは、当館で開催中の特別展「戦後@ニッポン展」に関連した講座です。展覧会の時代背景を、展示している作品や作家に触れながら、くわしく紹介するものです。

2. 日時 2013年8月4日〔日〕午後2時から3時30分

3. 会場 徳島県立近代美術館講座室(3階)

4. 対象 一般

5. 講師 吉川神津夫(当館上席学芸員)

6. 料金 無料

7. 申込 不要

8. 内容

特別展「戦後@ニッポン展」では、1945年の終戦から1960年代初頭までの作品を紹介しています。ここ10年くらいの間に、美術を始め様々な分野でこの時代の研究が深められました。

こうした近年の動きをふまえながら、次の三つテーマでお話しします。

(1) 「画家たちの戦争体験」

画家たちが戦争期をどのように過ごし、その体験が戦後どのように作品に反映されたのかについて、浜田知明の出品作品に触れながらお話しします。

(2) 「GHQ 占領下の美術」

GHQ 占領下において、美術作品がどのような規制を受け、その中でどのような表現が行われていたのかについて、伊原宇三郎の出品作品にふれながらお話しします。

(3) 「記録としての山下菊二スケッチ」

山下菊二自身も参加した東宝争議とそのスケッチが持つ意義についてお話しします。